


経皮的冠動脈インターベンション:透析患者パス 入院診療計画書

CLY120

患者ID	主治医	病名	説明日
患者氏名	担当医	管理栄養士	症状 <input type="checkbox"/> 事前検査による異常所見
生年月日:	看護師	特別な栄養管理の必要性	<input type="checkbox"/> 自覚症状
病棟(病室)	薬剤師	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(胸部不快・動悸・呼吸苦・気分不快)

月日	入院日・治療前	
患者目標	不安なく治療を受けることができる	
治療処置 注射 (内服)	穿刺部位: <input type="checkbox"/> 手首 <input checked="" type="checkbox"/> 親指と人差し指の間 <input type="checkbox"/> 肘 <input type="checkbox"/> 足の付け根 現在使用している薬をすべて確認します(現在中止している薬も含む) 入院中に使用する薬について説明します アレルギーの有無を確認します 足の甲の動脈が触れる部分に印をつけます ☆足の付け根を中心にお腹～膝上まで毛を剃ります	点滴用の針を(右・左)腕に挿入し準備をします <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> カテーテルを穿刺する部位に麻酔のテープを貼ります <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 安静中に使用する薬を預かります
		
検査	必要に応じて行います	
食事	透析食(糖尿病等がある場合はその他の治療食)です	
排泄	制限はありません	医師の指示がある場合、尿の管を入れます(有・無)
清潔	タオルで体を拭くことができます(必要な場合はお手伝いをします)	
活動 (安静度)	制限はありませんが、病棟を離れる際はスタッフに声をかけてください	カテーテル室へは <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 車椅子・☆ベッドで移動します
説明 (指導)	入院生活や治療について説明します 義歯・補聴器の有無を確認します ネームバンドを装着します	カテーテル穿刺部位は()です <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 甚平型病衣・☆ガウン型病衣に着替えます 装身具(眼鏡・時計・義歯・指輪等)を外します
その他	治療に必要な物品は病院で準備します	治療開始時刻は、緊急カテーテルやその他の検査の進み具合によって、大幅に前後する場合があります



※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し、対応させていただきます。 上記のとおり説明を受けました 年 月 日

※上記の内容は、状態によって変更する場合があります。変更の際はその都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。 説明を受けた人: 続柄

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。 (本人・家族) ()

循環器内科パス:

患者氏名

患者ID

月日	治療後	治療後1日目・退院日
患者目標	治療後合併症を起こさない	日常生活に支障がない状態で退院を迎えることができる
治療処置注射(内服)	治療後から退院時まで心電図モニターを装着します □◇△穿刺部に止血バンドがつきます □◇止血が確認できれば当日中に止血バンドは外れます △肘が曲がらないよう固定具をつけ、止血バンドは翌日まで装着します ☆穿刺部を圧迫固定します (脚が曲がらないよう固定具を付ける場合があります) △☆安静中に使用する薬は看護師が配ります	△医師が止血確認後、止血バンドを外します ☆医師が止血確認後、圧迫固定を外します 点滴の針を抜きます 尿の管がある場合、医師の指示により尿の管を抜きます △☆預かっていた薬を返却します 退院時に処方がある場合は、薬剤師からお渡します(不在の場合には看護師からお渡する場合もあります) ネームバンドを外します 体温計を回収します
検査		血液検査と心電図検査があります 退院後の過ごし方、次回外来について説明をします
食事	帰室後から水分・食事を摂取することができます 食事は片手で(☆寝たまま)食べやすい形態に変更します	透析食(糖尿病等がある場合はその他の治療食)です (☆ベッドを45度まで上げて食べます 食べにくい方は動けるようになるまで食事を取り置きますので、ご相談ください) 次回の外来予約票と診察券をお渡します
排泄	□◇△帰室後からトイレを使用します ☆尿の管が入っています(排便はベッド上で便器を使用します)	制限はありませんが、尿の管が入っている場合は、尿の管を抜いた後にトイレを使用します 会計担当者が、お部屋へ伺います(開院日)
清潔	□◇△帰室2時間後以降に持参の寝衣に着替えることができます	タオルで体を拭くことができます(必要な場合はお手伝いをします) 会計の説明を聞いてからの退院となります(状況によっては、多少お待ち頂く場合がございます)
活動(安静度)	出血予防のため穿刺部の安静を保ってください □◇△帰室後2時間は室内トイレ程度とし、その後は病棟内でお過ごしください ☆帰室後6時間は安静となります(寝返りもできません) 安静解除後は看護師介助のもと体の向きを変えることができます	□◇△制限はありません ☆医師の診察が済むまではベッド上でお過ごしください 診察後の制限はありません 病棟を離れる際はスタッフに声をかけてください
説明(指導)	治療後、医師から説明があります 治療後、胸部不快や気持ちが悪いなど、苦痛がある場合は看護師にお知らせください	
その他		



※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し、対応させていただきます。

※上記の内容は、状態によって変更する場合があります。変更の際はその都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

循環器内科パス: